

# 令和7年度事業報告

(自：令和7年4月1日 至：令和8年3月31日)

公益社団法人 愛知県獣医師会

## 令和7年度 事業報告

公益法人移行後、13年が経過し、公益目的事業の積極的な推進、効率的な法人運営等に努め、効果的でより充実した事業の展開並びに組織運営に全力で取り組んだ。

### 事業活動

公1 食鳥肉に起因する衛生上の危害の発生を防止するため、食鳥処理場において食鳥検査、検査員に対する研修会等を行うことにより、流通する食鳥肉の安全を確保する事業

(1) 食鳥検査事業

岡崎市に食鳥検査センターを設置するとともに、県内6か所の食鳥処理場に対して、会員である獣医師の検査員を配置して食鳥検査を行っている。

<7年度 実績>

(f) 検査員の配置実績 (6 処理場合計)                      常勤 12人      非常勤 10人

(g) 食鳥検査羽数の実績                                              15,352,989羽

(h) 検査結果 (処分の状況 6 処理場合計)

とさつ又は解体の禁止	全部廃棄	一部廃棄	合 計
111,901 (0.72%)	107,131 (0.70%)	208,197 (1.36%)	427,229 (2.78%)

(2) 検査員研修会

定期的に検査員連絡会議や研修会を開催し、検査技術の平準化や向上を図るとともに、厚生労働省の開催する食鳥肉衛生技術研修会等に参加させ、技術の研鑽に努めている。

なお、食鳥検査業務に有用な研修についてセンターの予算の範囲で参加させている。

<7年度 実績>

年月日	講 演 内 容	講 師
7.4.13	令和6年度食肉及び食鳥肉衛生技術研修会並びに研究発表会 伝達講習	三澤正和検査員
7.11.9	高病原性鳥インフルエンザについて	愛知県西部家畜保健衛生所 保健衛生課 川本隆之主任専門員

公2 獣医学術、獣医療の専門知識・技能の普及並びに人材育成を図る事業

(1) 学術事業

獣医療の各分野にわたって、学会・講習会・研修会等を開催（行政または関係団体との共催を含む。）し、獣医師の専門知識・技能の普及並びに資質の向上を図る事業。

<7年度 実績>

\*臨床部会第1回小動物学術セミナー

日 時：令和7年7月20日

会 場：愛知県産業労働センター ウィンクあいち 12階1204号室

演 題：「明日から使える外科テクニック」

講 師：堀切園 裕 先生（岐阜大学応用生物学獣医第二外科）

参加人数：会員30名、非会員10名 合計40名

\*臨床部会第2回小動物学術セミナー

日 時：令和7年12月21日

会 場：愛知県産業労働センター ウィンクあいち 11階1104号室

演 題：「犬と猫の糖尿病診断と治療のアップデート2025」

講 師：西飯 直仁 先生（岐阜大学応用生物科学部共同獣医学科獣医内科学研究室 教授）

参加人数：会員 46 名、非会員 13 名 合計 59 名

\*第 1 回 公衆衛生部会学術セミナー

日 時：令和 7 年 11 月 22 日

会 場：アイリス愛知 2 階 サフラン

演 題：災害時・避難所の衛生対策 ～保健所・環境衛生監視員の視点から～

講 師：中臣 昌弘 先生（オフィス環監未来塾 代表）

参加人数：会員 20 名、非会員 5 名 合計 25 名

\*第 2 回 公衆衛生部会学術セミナー

日 時：令和 8 年 2 月 17 日

会 場：愛知県図書館

演 題：重症熱性血小板減少症候群（SFTS）の最新の動向

講 師：前田 健 先生（国立健康危機管理研究機構 国立感染症研究所 獣医科学部長）

参加人数：合計 34 名

\*令和 7 年度 第 63 回学術研究発表会及び特別講演

【学術研究発表会】

日 時：令和 8 年 3 月 8 日

会 場：愛知県産業労働センター ウィンクあいち 9 階 906 号室及び 907 号室

発表演題数：22 題（産業動物：6 題、小動物：9 題、公衆衛生：7 題）

【特別講演】（産業動物、公衆衛生の部）

演 題：ワンヘルス・アプローチで薬剤耐性菌を制御する

講 師：浅井 鉄夫 先生（国立大学法人東海国立大学機構 岐阜大学 連合獣医学研究科 教授）

【特別講演】（小動物の部）

演 題：短頭種気道症候群の病態と治療

講 師：稲葉 健一 先生（名古屋みなみ動物病院・どうぶつ呼吸器クリニック院長 院長）

参加人数：会員 62 名、非会員 9 名 合計 71 名

(2) 学会発表推進事業

（公社）日本獣医師会等が開催する学会で研修発表を行う獣医師に対し、参加登録料・旅費の助成と共同研究者等に参加登録料の助成を行い、愛知県内において獣医療の先端を担う人材育成を図る事業。

<7 年度 実績>

\* 獣医学術中部地区学会発表者 11 名

公 3 狂犬病を始めとする人と動物の共通感染症を予防するために、狂犬病の予防注射推進及び人と動物の共通感染症について正しい知識の普及啓発を行う事業

(1) 狂犬病予防注射推進事業

名古屋市を除く県下の全市町村長に呼びかけ、狂犬病予防推進事業として狂犬病予防注射済票交付手数料及び犬の鑑札交付手数料の徴収事務並びに交付事務を受託し、会員病院において狂犬病予防注射に付帯する注射済票及び鑑札の交付を代行することで、飼い主の負担軽減及び予防接種機会の拡大により、予防注射接種率の向上を図る。また、毎年 4 月から 6 月を狂犬病予防注射月間として活動しており TV 広報及びポスターを本会会員の施設に掲示している。

<7 年度 実績>

（注射済票・鑑札交付事業）

注射済票交付枚数：127,957 枚 鑑札交付枚数：8,703 枚

（広告宣伝事業）

TVスポットの実績：未実施。

(2) 共通感染症講演会開催事業

人と動物の共通感染症についての講演会を開催し、人と動物の共通感染症に対する正しい知識の普及啓発、特に狂犬病についての危険性の周知を行うことにより狂犬病予防を推進する。

<7年度 実績>

日 時：令和8年2月11日

会 場：愛知県産業労働センター ウィンクあいち 11階1104号

演 題：「SFTS 緊急セミナー感染拡大をどう対策していくか・今後を考える 拡大していく感染を、臨床現場の獣医師は、どう対応していったら良いかを検討する」

講 師：村田 佳輝 先生（むらた動物病院 院長）

参加人数：会員 35名、非会員 13名 合計 48名

(3) 身体障害者補助犬予防注射助成事業

身体障害者補助犬（盲導犬・聴導犬・介助犬等）利用者に対し、狂犬病予防注射料金を本会で負担し支援。

<7年度 実績>

\*助成実施頭数 9頭

公4 学校飼育動物に関する保健衛生の向上並びに動物愛護思想、動物福祉の増進及び野生動物保護等の普及啓発を行う事業

(1) 動物愛護事業（県民公開講座）

家庭飼育動物の犬、猫、鳥等の習性、適正な飼育管理、愛護・保護精神の高揚、犬のしつけ等について公開講座を開催し、広く県民に普及啓発する。

<7年度 実績>

\*動物愛護・共生委員会（県民公開講座）

日 時：令和8年3月22日

会 場：日本モンキーセンター ビジターセンター

演 題：知りたい！生命の森・熱帯雨林 樹高70mの世界

講 師：湯本 貴和 先生（公益財団法人 日本モンキーセンター 所長）

参加人数：会員 11名、一般 46名 合計 57名

(2) 動物愛護事業（動物慰霊祭）

動物園で死亡した動物、戦時中に死亡・殺処分された動物及び動物保護管理センターで殺処分された犬猫を慰霊することにより広く県民に動物愛護の精神を普及啓発する。

<7年度 実績>

\*9月23日 東山動物園慰霊祭

\*9月25日 動物愛護センター慰霊祭

\*11月20日 本会慰霊祭

(3) 動物愛護事業（動物愛護図画コンクールの表彰）

県内の児童に動物愛護に関する図画を募集し、動物に関する図画の作成を通じて動物愛護への関心を高め、動物愛護精神の普及啓発を図る。

<7年度 実績>

\*日本獣医師会会長賞 1作品、愛知県獣医師会会長賞 1作品

(4) 動物愛護事業（長寿犬表彰）

長寿犬の表彰をすることにより、適正な飼養管理・終生飼養に対する意識を高め、広く県民に動物愛護の精神を普及啓発する。

<7年度 実績>

長寿犬表彰頭数 19頭

(5) 動物愛護事業（講演会）

\*災害対策委員会セミナー

日 時：令和8年1月11日

会 場：愛知県産業労働センター ウィンクあいち 11階1102号

演 題：生き残る ～大震災、伝えておきたいこと～

講 師：阿部 俊範 先生（あべ動物病院院長）

参加人数：会員21名、非会員22名 合計43名

(6) 負傷動物等治療支援事業

愛知県知事から受託し、動物愛護センターに収容されている犬や猫に対して、新たな飼い主へ健康な状態での犬や猫の譲渡ができるように、動物の治療等について専門的な知識及び技術を有する獣医師による治療支援を実施する。

<7年度 実績>

支援獣医師による犬猫の診断及び治療：28頭（犬：15頭、猫13頭）、43回（犬：19回、猫：24回）

支援獣医師による定期巡回：3回

(7) 学校動物飼育支援事業（ふれあい教室）

公立小、幼稚園等の飼育動物の衛生と健康を保持し、効果的に教育活動ができるように学校、児童、PTA等を対象にふれあい教室を開催する。

<7年度 実績>

\*ふれあい教室、どうぶつの先生の授業 30校（延べ32回・参加獣医師数 延べ25名）

\*飼育相談対応 3校・5回

\*モルモットホスティング（小学校18校で実施）

\*関連セミナー

日 時：令和8年3月15日

会 場：名古屋市獣医師会館 大講堂

演 題：モルモットの飼育と臨床の基礎

講 師：曾我 真也先生（ハート動物クリニック豊橋小松病院 院長）

演 題：モルモットのホスティングについて

講 師：杉本 寿彦先生（杉本獣医科病院 院長）

参加人数：会員22名、非会員16名 合計38名

(8) 野生傷病鳥獣保護事業

野生鳥獣保護法に基づき、愛知県知事から受託し、県内に野生鳥獣保護指導獣医師を設置し、野外で負傷、疾病し発見された野生の鳥獣及び哺乳類の保護指導をすることにより、県民に鳥獣保護思想の普及啓発を図る。

<7年度 実績>

\*実施登録獣医師数：81名

\*保護指導数（鳥類：27種・71羽、獣類：1種・1頭）

\*関連セミナー

日 時：令和8年2月23日

会 場：愛知県産業労働センター ウィンクあいち 11階1104号室

演 題：病理学と感染症の研究と最新のトピック第2弾「～野生動物（鳥）の異変とその意味～  
～飼育下エキゾチックアニマルにみる新しい疾患～」

講 師：宇根 有美先生（一般社団法人 どうぶつ疾病研究支援協会 代表理事）

参加人数：会員29名、非会員26名 合計55名

## 他1 会員に対する相互扶助等事業

### (1) 互助・福祉厚生事業

- (ア) 機関誌「紫苑」を毎月10日に12回発行。
- (イ) 同好会への助成実績
  - ・10月13日開催 第12回つり大会への助成。
  - ・11月3日開催 第16回ゴルフコンペへの助成。
- (ロ) 獣医師総合生命福祉共済保険「狂犬病予防注射事業賠償保険」を契約。
  - ・令和7年度の契約人数は、470名。
- (ハ) 顧問弁護士契約を継続。
- (ニ) 所得補償保険及びがん保険の団体契約の継続。

### (2) 会員の表彰

- ・中部獣医師会連合会大会会長表彰に15名推薦。

### (3) 会員の弔慰

- ・会員、配偶者、両親及びご子息の死亡に給付をした。
- ・病気見舞及び災害見舞の給付をした。

### (4) 獣医療証明様式等頒布事業

- ・獣医師法、獣医療法、薬事法等で診療等の際に交付が義務付けられている証明書等の様式について、(公社)日本獣医師会が作成したものを、診療獣医師の注文に対し、本会獣医師会を通じて有償で頒布。  
<7年度 頒布実績>  
証明書A：518冊・証明書B：25冊・動物医薬品指示書：75冊・出荷制限期間指示書：15冊  
狂注済証：138冊・診断書：22冊

### (5) 獣医師の倫理向上に関する事業

- \*臨床部会「綱紀・獣医事委員会」を3回開催し、新入会員研修会について検討した。

(開催日：令和7年7月17日、令和7年11月27日、令和8年1月8日)

- \*臨床部会「新入会員研修会」を開催。

日 時：令和8年1月18日

会 場：愛知県産業労働センター ウィンクあいち11階1104号室

参加人数：臨床部会新入会員：11名（開業会員：9名・勤務会員：2名）

- \*関連セミナー

日 時：令和8年1月18日

会 場：愛知県産業労働センター ウィンクあいち11階1104号室

演 題：法令・獣医療過誤訴訟、飼い主への対応を中心に

講 師：鈴木 智洋先生（鈴木・久保田法律事務所 代表弁護士）

参加人数：臨床部会新入会員：11名（開業会員：9名・勤務会員：2名）、会員21名 合計32名

### (6) 獣医師の処遇改善に関する事業

- ・公務員獣医師の処遇改善等について

# 令和 7 年度事業報告附属明細書

(自：令和7年4月1日 至：令和8年3月31日)

公益社団法人 愛知県獣医師会

法人の状況に関する重要な事項（計算書類及びその附属明細書の内容となる事項を除く。）  
該当事項はない。

管 理 部 門

1. 会員の状況

区分	令和6年度末 会員数	令和7年度中の異動			令和7年度末 会員数
		入会者数	退会者数	増減	
会員数	852	13	25	△12	840

(なお、賛助会員10団体は含まない。)

<会員数の内訳>

部 会 名	畜産部会	臨床部会	公衆衛生部会
部会別会員数	199名	472名	169名

2. 会費未納入状況

(1) 令和7年度 部会別会費未納者状況 (令和8年3月31日現在)

部 会 名	未納者数	金 額
畜産部会	3名	82,000円
臨床部会	7名	466,000円
公衆衛生部会	1名	16,000円
合 計	11名	564,000円

<内 訳>

(なお、畜産部会1名、臨床部会1名は2年間会費未納)

会費金額	畜産部会	臨床部会	公衆衛生部会	合 計	金 額
75,000円	0名	6名	0名	6名	450,000円
50,000円	1名	0名	0名	1名	50,000円
16,000円	2名	1名	1名	4名	64,000円
6,000円	0名	0名	0名	0名	0円

(2) 令和6年度 部会別会費未納者状況 (令和7年3月31日現在)

部 会 名	未納者数	金 額
畜産部会	3名	48,000円
臨床部会	5名	257,000円
公衆衛生部会	3名	48,000円
合 計	11名	353,000円

<内 訳>

会費金額	畜産部会	臨床部会	公衆衛生部会	合 計	金 額
75,000円	0名	3名	0名	3名	225,000円
50,000円	0名	0名	0名	0名	0円
16,000円	3名	2名	3名	8名	128,000円
6,000円	0名	0名	0名	0名	0円